

金光教令達類纂

267
65

特

014041-000-2

特18-649

金光教令達類纂

飯塚 辰太郎 / 編

M44

ABB-0295



特 18
649

目次
○教令

明治三十三年六月二十一日 教令第一號 告示式

明治三十三年六月二十日 教令第二號 本部事務細則

明治三十三年七月九日 教令第三號 支部細則

明治三十三年十一月廿二日 教令第六號 會計細則

明治三十三年十一月廿二日 教令第七號 本支部賦課徵收細則

明治三十三年十一月廿二日 教令第八號 教會所細則

明治三十四年二月廿七日 教令第一號 給費生規程

明治三十五年一月廿二日 教令第一號 教師昇級規程

明治
44. 7. 5
丙寅

目一

一丁
二丁
八丁
一一丁
二八丁
三二丁
五二丁
五四丁

明治三十五年 四月一日 教令第三號 典樂部規則

明治三十七年 三月廿日 教令第一號 巡教師任命規程

明治三十七年 三月二十日 教令第二號 巡教規程

明治三十七年 三月二十日 教令第三號 巡教師及其服制ニ關スル規程

明治四十年 六月廿七日 教令第一號 東京及橫濱特別布教規程

明治四十一年 三月十日 教令第三號 教師新補幣帛料規程

明治四十一年 六月十八日 教令第六號 韓國布教管理規程

明治四十二年 六月一日 教令第一號 韓國布教管理所書記規程

○達 及 通牒

明治三十三年 十月廿一日 達第十一號 寄留教師ハ其所在地支部ニ於テ監督スベキ件

明治三十八年 十二月二十日 第一三號 本教錄事掲載ノ件

明治四十年 二月十七日 第四〇號 求信者名簿調製保管ノ件

明治三十三年 八月三日 教監通牒 支部及教會所以下ノ印章寸法ノ件

明治三十三年 十月廿一日 教監通牒 轉屬又ハ寄留教師取扱ニ關スル件

明治三十三年 十二月十五日 教監通牒 本部御用始並御用終及執務時間ノ件

明治三十四年 一月廿日 監第一號 下達上申ヲ稽緩遲延ス可ラザル件

明治三十四年 四月十五日 監第八號 教徒信徒ニシテ教師ノ裝束ヲ着用シ及祭典

明治三十四年 七月二十三日 監第十五號 教會所設置廢止移轉等ノ手續ヲ了リタル時

ハ直ニ届出ヘキ件

五五丁

五六丁

五七丁

五八丁

六一丁

六一丁

六一丁

六三丁

六四丁

六四丁

六五丁

六六丁

六七丁

六八丁

六九丁

六九丁

七〇丁

明治三十四年 八月二日 監第十七號 祭典又ハ説教等ニ際シ他教派ノ教師ヲ聘備

ス可ラザル件 七〇丁

明治三十四年 九月二日 監第廿二號 同教區内轉屬教師取扱ノ件 七二丁

明治三十五年 十二月二十日 第三五二號 本部新年拜賀日ノ件 七二丁

明治三十六年 三月二十日 第三六六號 教會所新築又ハ改築ノ場合ニハ伺出ヲ要ス

ル件 七二丁

明治三十七年 七月十日 第三七七號 教師志願者ハ身分証明書ヲ要スル件 七二丁

明治三十七年 九月三日 第三七一號 教會所設置ノ目的ニテ布教ニ從事セントス

ル者ハ届出ヲ要スル件 七三丁

明治三十七年 九月三十日 第三七九號 教師死亡届ニ關スル件 七四丁

明治三十七年 十一月廿一日 第三七四號 金光四神貫行之君例祭ノ件 七五丁

明治三十八年 四月十三日 第三八一號 祭典作法練習ノ件 七五丁

明治三十九年 二月十五日 監第四號 本部大祭ニ於ケル正服用ノ件 七六丁

明治四十年 一月廿五日 第四二〇號 教會所ヲ設置セントスル時ハ担当者ガ地所

又ハ家屋ヲ所有スベキ必要アル件 七六丁

明治四十年 一月廿六日 第四三〇號 教會所設置豫定届ノ効力ノ件 七七丁

明治四十年 五月十七日 第四一〇號 教徒信徒取扱ニ關スル件 七八丁

明治四十年 五月十七日 第四一〇號 恒例祭日ノ變更ハ濫リニ許サレザル件 七八丁

明治四十年 五月廿七日 第四一〇號 教師昇級選舉ニ關スル件 七九丁

明治四十年 十一月六日 第四〇七號 不慮ノ災變ニ際シ被害報告ノ件 八〇丁

明治四十年 第四〇號 本教錄事掲載ニ關スル件

八〇丁

明治四十一年 教監通牒 教信徒轉属ノ際認鑑承認狀附與ニ關スル件

八二丁

明治四十一年 第一五號 神訓乃威德授與ノ件

八二丁

明治四十二年 第四二號 海外渡航教師ハ認許ヲ經ベキ件

八三丁

明治四十二年 第二六號 教會所設置ノ際担当者ガ所有スベキ地所

八四丁

又ハ家屋ニ關スル件

明治四十三年 第一三號 社會改善及救濟事業ニ關スル件

八四丁

明治四十三年 教務課通牒 祭日申請及説教日届出手續ノ件

八六丁

教令

○告示式 明治三十三年六月二十一日 教令第一一號

部下一般

第一條 教規教則教令其他ノ諸達書類ハ管長ノ名ヲ以テ之ヲ發ス

第二條 教則ハ教規ニ據リ教監ニ於テ之ヲ教務課ニ命シテ起草セシメ專掌ノ詮議ニ附シ管長ヨリ議會ノ協賛ヲ經主務官廳ノ認可ヲ得テ之レヲ發ス

第三條 教令其他ノ諸達書類ハ必要ニ應ジ上長ノ命ニヨリ教務課ニ於テ之レヲ起草シ上長ノ會議ニ附スルモノトス

第四條 本部ヨリ發スベキ教則ハ教則何號教令ハ教令何號其他ノ諸達書類ハ凡テ達何號ト記スベキモノトス

第五條 本部ヨリ部下ニ通牒スベキモノハ教監之ヲ發ス必要ノ場合ニ當リテハ專掌又ハ專掌ト課長トノ意見ヲ徵スベキモノトス

第六條 各課ヨリ部下ニ通牒スベキ事項ハ上長ノ承認ヲ得テ課長之レヲ發ス

第七條 教則教令及諸達書類ハ印刷物ニ附シテ本部ヨリ支部各教會所又ハ教師教

徒ニ配付ス

第八條 教則教令及諸達書類ハ特ニ施行ノ期日ヲ掲クルモノヲ除クノ外到着ノ日ヨリ之ヲ施行スルモノトス

附 則

第九條 支部及各教會所ニ必要ナル規則ハ教則ノ範圍内ニ於テ部長及各教會長之レヲ規定シ管長ノ認可ヲ得テ之ヲ其部内ニ發スルモノトス

○本部事務細則 明治三十三年六月三十日 教令 第二十一号

第一條 本令ハ教則第二號第十四條ニヨリ之ヲ定ム

第二條 本部内ニ左ノ職員ヲ置ク

教 監 一 名

專 掌 若干名

屬 員 若干名

第三條 教監ハ管長ヲ補佐シ教規教則教令ノ範圍内ニ於テ本部一切ノ事務ヲ担当ス

教監事故アルトキハ專掌之ニ代ル

第四號 專掌ハ管長ノ命ヲ承ケ又教監ノ指揮ニヨリ審査立案ヲ掌リ各課ノ事務ヲ

監 査

專掌ハ管長ノ命ヲ承ケ各課ノ長ヲ兼ヌルコトヲ得

第五條 專掌一人ヲ東京ニ常在セシメ本部出張所一切ノ事務ヲ監掌セシム

第六條 教監專掌ハ管長ノ命ニヨリ時々部下ノ支部各教會所ヲ視察巡回スルコト

アルベシ

第七條 本部ニ左ノ三課ヲ置キ本部内ノ事務ヲ分掌セシム

一 教務課

支部教會廢置分合移轉ニ關スル事項

本支部各教會職員及教師ノ任免黜陟ニ關スル事項

教徒信徒ノ調査ニ關スル事項

本支部ノ派出巡回宣教及各教會ノ布教ニ關スル事項

○本部出張所ハ東京市神田區和泉町壹番地ニ置ク

諸達書類文書ニ關スル事項

神事葬靈祭其他諸式禮ニ關スル事項

金光教々義講究所ニ關スル事項

金光中學校ニ關スル事項

二會計課

本部及金光中學校ノ經費出納其他部下一般ノ賦課徵收ニ關スル事項

豫算決算ニ關スル事項

本部書類器具一切ノ管理ニ關スル事項

三庶務課

諸般ノ受附事項

本部工事及諸器具購求ニ關スル事項

本教ノ典籍及令達等出版印刷ニ關スル事項

各課規定以外ノ事務ニ關スル事項

總テ統計事務ニ關スル事項

第八條 各課ニ課長一人係員若干ヲ置ク

第九條 課長ハ各課内ノ事務ヲ掌理ス

第十條 係員ハ課長ノ指揮ヲ受ケ各課内ノ事務ヲ整理ス

係員ハ課長ノ命ニヨリ臨時各課ノ事務ヲ助クルコトアルベシ

第十一條 各課ニ於テ專行スベキ事務ハ課長之ニ認印シテ執行シ他課ニ關聯セル

モノハ其關係課ニ回附シ關係課長之ニ認印スベキモノトス

第十二條 各課長事故アルトキハ教監ノ命ニヨリ他ノ課長又ハ係員之ニ代理ス

第十三條 管長及本部ノ印章ハ管長ニ於テ保管シ管長事故アルトキハ副管長ニ於

テ保管スベキモノトス

第十四條 上長ノ印章ハ各上長ニ於テ保管スベキモノトス

第十五條 各課ノ印章ハ各課長ニ於テ保管シ各課長事故アルトキハ教監ノ命ニヨ

リ他ノ課長又ハ係員之ヲ保管ス

第十六條 凡テ事務ハ受附ニ於テ受理シ受附番號及年月日ヲ記入シ直ニ受附簿ニ

登載シテ各課ニ回送スベキモノトス

第十七條 各課ニ於テ毎月末日ニ執務統計表ニ通テ調製シテ翌月三日限り專掌ニ差出スベシ專掌ハ調査ノ上捺印シテ教監ニ送附ス教監ニ於テ統計表ヲ受理シタルトキハ審査ノ上之ニ捺印シ一通ハ保管シ一通ハ各課長ニ返附シ各課長ニ於テ之ヲ保管スルモノトス

第十八條 各課ニ於テハ毎月ノ統計表ノ外六月十二月ノ兩季ニ每半年度ノ統計表ヲ調製シ上半年度表ハ七月五日迄ニ下半年度表ハ一年度表ト共ニ翌年一月八日限り調製シテ上長ニ差出スベシ其手續ハ第十七條ニ依ル且管長ノ認印ヲ要ス

第十九條 庶務課ニ於テハ教監ノ命ヲ承ケテ每半年度每一年度ニ於テ本部内一般ノ統計表ヲ作ルベキモノトス

第二十條 庶務課ニハ令達發送簿通牒簿等ヲ備置キテ一切ノ諸達通牒書ニ關スル發送年月日ト其種目トヲ記シ置クベキモノトス

第二十一條 教師新補昇級部長副部长教會長副教會長ノ任免及支部各教會所ノ廢置分合移轉本部ノ土木工事等ニ關スル事項ハ各其課ニ詮議シ上長ノ審査認印ヲ要シテ管長ノ認可ヲ申請スベキモノトス

第二十二條 各課ニ於テ他ノ課長又ハ上長ノ認印ヲ要スベキ事項ハ其主課ニ於テ回案ヲ附シ回送スベキモノトス

第二十三條 本部内ノ事務ノ統一ヲ計ル爲ニ左ノ會議ヲ開ク

- 一 本部會議
- 一 上長會議
- 一 課長會議

第二十四條 本部會議ハ課長以上出席シ教監又ハ專掌之ガ議長トナリ管長臨席ノ上會議ス

本部會議ハ四月十月ノ兩度ニ開會シ又必要ノ場合ニ當リテ管長ヨリ臨時之ガ開會ヲ命スルコトアルベシ

第二十五條 上長會議ハ教規教則教令等ノ明文ニヨリ必要ナル場合ニ當リ開會ス上長會議ハ時ニ當リテ管長ノ臨席ヲ請フコトアルベシ

第二十六條 課長會議ハ教監又ハ專掌之ガ議長トナリ毎月一回開會スルモノトス但シ必要ノ場合ニアリテハ教監ヨリ臨時開會ヲ命ズルコトアルベシ

第廿七條 休業日ハ左ノ如シ。

日曜日 自十二月二十八日至一月六日

但シ夏期ハ休暇ニ代フルニ八月一日ヨリ三十一日マデ正午限リトス

第廿八條 執務時間ハ日ノ長短ニ隨ヒテ臨時ニ教監之ヲ定ム

第廿九條 本部屬員及雇ハ順次一名宛宿直スルモノトス

附 則

第三十條 大教會所ニ於ケル會計ヲ除クノ外一切ノ事務ハ本部ニ於テ整理スベキモノトス

○教則第二
號參照

○支部細則 明治三十三年七月九日
教令第三三號

第一條 支部内ニ左ノ職員ヲ置ク

部 長 一 名

副 部 長 一 名

屬 員 若干名

第二條 部長ハ教規教則教令其他ノ命令ニヨリ其支部管轄内一切ノ事務ヲ管掌ス

第三條 部長ハ管轄教区内ノ職員ヲ監査シテ其行狀ヲ管長ニ具伸シ又ハ部屬教師ノ進退黜陟ニ關スル意見ヲ開申スルコトヲ得

第四條 部長ハ管轄教区内ニ於ケル各教會所ノ廢置分合移轉等ニ關スル出願書ニ添申シ及各教會所ノ等級ヲ調査上申スベキモノトス

第五條 部長ハ毎月其部内ニ於ケル教務一切ノ統計表ヲ調製シ且六月卅日十二月卅一日ノ兩半年毎ノ統計表及教師員數表ヲ作り各翌月十日迄ニ本部ニ差出スベシ

第六條 部長ハ教則第四號ノ規定ニヨリ議會議員ノ互選會ヲ監督整理ス

第七條 部長ハ互選會ニ於テ當選シタル議員ニ左ノ書式ニ依リ當選狀ヲ交付ス

職 名	何 某
金光教議會何教區選出議員ニ當選ス	
年 月 日	
金光教何教區	
支 部 長	何 某

用 紙
大奉書四ツ切

第八條 副部長ハ部長ヲ佐ケ部長事故アル片ハ其事務ヲ代理ス

第九條 副部長ハ支部内ノ會計主任タルベキモノトス

第十條 部長及副部長ハ管長又ハ本部長ノ命ニ依リ或ハ必要ニ應ジテ其管轄部内ヲ視察巡回スルコトアルベシ

第十一條 屬員ハ部長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス

第十二條 支部内ニハ必用ニ應ジ左ノ二課ヲ分置スルコトヲ得

一 教務課

二 會計課

此場合ニハ部長之ガ規程ヲ定メ管長ノ承認ヲ受クベキモノトス

但シ課長ノ名稱ヲ置クコトヲ得ズ

第十三條 支部内ニ巡教師ヲ置キ管轄区内ニ派出巡教セシムルコトヲ得

第十四條 支部及部長ノ印章ハ部長ニ於テ保管シ部長事故アルトキハ副部長之ヲ

保管ス

第十五條 教区内ノ事務ノ統一ヲ圖ル爲ニ管長ノ承認ヲ得テ支部會ヲ設クルコト

ヲ得此場合ニハ支部經費徴收豫算決算等ハ必會議ニ附スベキモノトス

第十六條 支部會ハ管轄教区内ニ存在スル各教會長ヲ以テ組織シ部長之ガ議長トナル議長事故アルトキハ副部長之ニ代ル

第十七條 支部會議員ハ議案ヲ提出スルコトヲ得

第十八條 支部會ニ於テ部長ト意見ヲ異ニシ決セザルトキハ管長ノ裁決ヲ乞フベ

キモノトス

第十九條 支部内ニハ精細ナル主計簿及事務統計表ヲ備置キ何時ニテモ教区内ノ

各教會長ノ需闕ニ應ズルモノトス

第二十條 前諸條ノ外必用ノ規程ハ部長之ヲ定メ管長ノ認可ヲ得ベキモノトス

○會計細則

明治三十三年十一月廿二日
教令第六六號

部 下 一 般

第一章 會計年度所屬區分

第一條 歲入

第一 確定シタル徴收金其他定期ノ收入ハ其納期末日ノ屬スル年度
第二 臨時收納(臨時徴收及教徒信託ヨリ)ハ收納ヲナシタル日ノ屬スル年度
(献納其他一切ノ雜收入)

第二條 歳出

- 第一 借入金ノ元利ハ仕拂期日ノ屬スル年度
- 第二 物品購入土木建築等ノ仕拂ハ契約ヲナシタル日ノ屬スル年度
- 第三 契約ノ數年ニ涉ルモノハ其契約ニ據リ定リタル仕拂期日ノ屬スル年度
- 第四 諸拂戻缺損補填ハ其拂戻又ハ補填ノ決定ヲ達シタル日ノ屬スル年度
- 第五 俸給手數料旅費ノ類ハ其支給スヘキ事實ノ生ジタル時ノ屬スル年度
- 第六 前各項ノ類別ニ入ラザル費用ハ總テ仕拂フベキ日ノ屬スル年度

第二章 豫算

第一款 總豫算

第三條 會計課長ハ歳出歳入豫算ヲ調製シ歳計全体ニ關スル意見書ヲ付スルモノトス

第四條 歳出歳入豫算ハ經常臨時共ニ欸項ニ區分シテ調製シ歳出歳入ノ性質ヲ明

示スルコト

第五條 歳出歳入總豫算欸項區分ハ會計課長之ヲ定メ管長ノ承認ヲ得ルモノトス

第二款 豫定經費要求書

第六條 本部出張所擔任及教務課長ハ毎年其所管經費ノ需用高ヲ算定シ豫定經費要求書ヲ調製シ前年度十一月三十日マデニ會計課長ニ差出スヘシ

第七條 本部出張所及教務課ノ豫定經費要求書ハ經常臨時共ニ欸項ニ區分シ更ニ各項中所要ノ金額ヲ各自ニ區分シ經費所要ノ理由及經費全体ニ關スル説明ヲ付スヘシ

第三款 歳出歳入現計書

第八條 歳出歳入現計書ニハ會計課ニ備ヘタル帳簿ニ據リ會計課長之ヲ調製スベシ

第九條 歳出歳入現計書ニハ豫算ニ定メタル區分ニ從ヒ其年三月三十一日ヲ以テ終リタル年度ニ屬スル歳入歳出ノ九月三十日ニ於ケル左ノ事項ノ現計ヲ示スモノトス

歳入之部

歳入豫算額

收入済歳入額

收入未済歳入額

調定済歳入額

歳出之部

歳出豫算額

豫算決定後増加歳出額

確定未拂歳出額

翌年度繰越額

第四款 豫備金

第十條 豫備金ハ管長之ヲ管理ス

第十一條 會計課長ニ於テ豫備金ノ支出ヲ要スル時ハ其理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作り之ヲ上長會議ニ付シ上長會議ニ於テ是認スル時ハ管長ノ承認ヲ經テ其經費

ヲ支出スルモノトス

第十二條 豫備金ヲ以テ補充支辨シタル金額ハ會計課長其計算書ヲ作り各費途ノ説明ヲ付シ翌年度ノ議會ニ提出スルモノトス

第二章 收入

第十三條 會計課長ニ於テ現金ヲ收納シタル并ハ直ニ本部金庫又ハ既定約束ノ銀行ニ振込ムヘシ

第十四條 會計課長ハ毎月其既收并ニ調済未收ノ統計ヲ製スルモノトス

第四章 支出

第十五條 會計課長ハ支出スベキ經費ノ仕拂豫算額ニ超過スルコトナキヤ仕拂フベキ金ノ豫算ヲ以テ定メラレタル目的ニ違フコトナキヤヲ調査スベシ

第十六條 會計課ニ於テ支拂フモノハ受取人ヨリ領收書ヲ納付セシムルモノトス
第十七條 前金渡概算拂繰替拂等ヲナストキハ其手續ヲナシ戻金等アルトキハ前

後ノ關係ヲ明記スルコト

第十八條 法律ノ規定ニヨリ負債ノ義務ヲ免レタルモノアルガ爲不用トナリタル

モノハ其負債ノ期滿免除トナリタル年度ノ歳入ニ組入ルベシ

第五章 決算

第一款 總決算

第十九條 歳入歳出總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ據リ會計課長之ヲ調成スルモノトス

第二十條 歳入歳出決算ハ豫算ト同一ノ區分ニ據リ會計課長之ヲ調成シ上長ニ差出スベシ

上長ニ於テ豫算決算書ヲ受理シタル時ハ審査是認ノ上管長ニ差出スモノトス

第二款 繰越

第二十一條 豫算額ヨリ剩餘ヲ生ジタルルハ翌年度ニ繰越スモノトス

但此場合ニ於テハ其剩餘ヲ生ジタル欸項ヲ明記スルモノトス

第二十二條 豫算超過ヲ生ジタルルハ欸項ニ區分シ其事由ヲ詳記シ議會ノ協賛ヲ經テ填補スルモノトス

第二十三條 會計規則第十四條第十五條ニ據リ年度内ニ其經費ノ支出ヲ終ラザリシ

金額ヲ翌年度ニ繰越サントスルルハ其繰越サントスル金額ノ計算書ニ各事件毎ニ竣功遲延ノ事由ヲ示スモノトス

第二十四條 前條繰越計算書ハ左ノ事項ヲ示スベシ

第一 繰越ヲ要スル項ノ定額

第二 右定額ニ對シ年度内ニ仕拂濟トナリタル額及翌年ニ繰越ヲ要スル額

第六章 帳簿

第二十五條 會計課ハ左ノ帳簿ヲ調製スルモノトス

第一 日記帳

第二 元帳

第三 補助帳

第二十六條 會計課ハ出納ノ現算ニ入ルベキ一切現金ノ出納ヲ各帳簿ニ登記スベシ

第二十七條 各年度經過後毎年四月ノ末日ニ於テ會計課長ハ各課長以上本部役員立會ノ上主計簿ヲ締切ルモノトス

第七章 雜則

第二十八條 帳簿ノ様式及記入ノ方法ハ管長之ヲ定ムルモノトス

甲

一金
 明治何年度何半期何等教會所賦課金
 右領收候也
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 金光教何々(小)教會長姓名殿

乙

一金
 明治何年度何半期何等教會所賦課金
 右明治何年何月何日限納付スベシ
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 金光教何々(小)教會長姓名殿

丙

一金
 明治何年度何半期何等教會所賦課金
 右納付候也
 明治何年何月何日
 金光教第何教區支部々長 氏名

甲

一金
 明治何年度何半期分教師年金
 右領收候也
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 姓名殿

乙

一金
 明治何年度何半期分教師年金
 右明治何年何月何日限納付スベシ
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 姓名殿

丙

一金
 明治何年度何半期分教師年金
 右納付候也
 明治何年何月何日
 金光教第何教區支部々長 氏名

(第二號)

甲

一金
 金光教議會ノ決議ニ依リ何等教會所臨時徴收金
 右領收候也
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 金光教何々(小)教會長姓名殿

(第三號)

乙

一金
 金光教議會ノ決議ニ依リ何等教會所臨時徴收金
 右明治何年何月何日限納付スベシ
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 金光教何々(小)教會長姓名殿

丙

一金
 金光教議會ノ決議ニ依リ何等教會所臨時徴收金
 右納付候也
 明治何年何月何日
 金光教第何教區支部々長 氏 名

甲

一金
 金光教議會ノ決議ニ依リ教師臨時徴收金
 右領收候也
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 姓名 殿

(第四號)

乙

一金
 金光教議會ノ決議ニ依リ教師臨時徴收金
 右明治何年何月何日限納付スベシ
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 姓名 殿

丙

一金
 金光教議會ノ決議ニ依リ教師臨時徴收金
 右納付候也
 明治何年何月何日
 金光教第何教區支部々長 氏 名

甲

一金
 教規第三十六條ニ依リ何等教會所臨時徴收金
 右領收候也
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 金光教何々(小)教會長姓名殿

(第五號)

乙

一金
 教規第三十六條ニ依リ何等教會所臨時徴收金
 右明治何年何月何日限納付スベシ
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 金光教何々(小)教會長姓名殿

丙

一金
 教規第三十六條ニ依リ何等教會所臨時徴收金
 右納付候也
 明治何年何月何日
 金光教第何教區支部々長 氏 名

甲

一金
 教規第三十六條ニ依リ教師臨時徴收金
 右領收候也
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 姓名 名 殿

(第六號)

乙

一金
 教規第三十六條ニ依リ教師臨時徴收金
 右明治何年何月何日限納付スベシ
 明治何年何月何日
 金光教本部會計課
 姓名 名 殿

丙

一金
 教規第三十六條ニ依リ教師臨時徴收金
 右納付候也
 明治何年何月何日
 金光教第何教區支部々長 氏 名

甲

<p>一金 明治何年度何半季教育所賦課金 右明治何年何月何日限納付スベシ 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 殿 金光教何々(小)教會長</p>	<p>右領收候也 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 殿</p>
--	--

(第七號)

乙

<p>一金 明治何年度何半季教師年金 右領收候也 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 殿</p>	<p>一金 明治何年度何半季教師年金 右明治何年何月何日限納付スベシ 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 殿</p>
--	--

(第八號)

甲

乙

乙

甲

(第九號)

<p>一金 金光教第何教區支部臨時徵收金 右明治何年何月何日限納付スベシ 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 名 金光教何々(小)教會長 殿</p>	<p>一金 金光教第何教區支部臨時徵收金 右領收候也 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 名 金光教何々(小)教會長 殿</p>
--	--

乙

甲

(第十號)

<p>一金 金光教第何教區支部臨時徵收金 右明治何年何月何日限納付スベシ 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 名 姓 名 殿</p>	<p>一金 金光教第何教區支部臨時徵收金 右領收候也 明治何年何月何日 金光教第何教區支部 部長 氏 名 姓 名 殿</p>
--	--

ハ猶豫ノ願出アリタルハ部長ニ於テ其事實ヲ調査シ是認ノ上ハ管長ニ申請スベシ

第二章 支部

第十一條 本支部賦課徵收法規則第十條及第十一條ニヨリ支部ヨリ納金者ニ對シ發スル徵收令書ハ第七號第八號様式ニ據リ全規則第十二條ニヨリ徵收スベキモノハ第九號第十號様式ニ據リ收納期日二十日以前ニ各教會長ニ配布スベシ

第十二條 前條ノ場合ニ當リテハ教會長ハ第三條ノ手續ニ據ルベシ

第十三條 教會長ハ徵收令書交付ノ後納期以前ニ於テ各納金者又ハ納額ニ異動ヲ生ジタルトキハ直ニ其旨ヲ納金者ニ通知スルト共ニ部長ニ申出ヅベシ部長ハ徵收令書發布ノ後納期以前ニ於テ各納金者又ハ納額ニ異動ヲ生ジタルトキハ最ノ徵收令書ヲ更正スベシ

第十四條 部長ニ於テ納金者ヨリ徵收金ヲ納付シタルハ各其帳簿ニ記入シ徵收令書ニ支部長印章ヲ捺シテ甲號ヲ納金者ニ返付シ乙號ヲ別ニ保管スベシ但シ未濟者アルハ其旨教會長ニ通知スベシ

第十五條 前條ノ場合ニ當リテ教會長收入未濟ノ通知ヲ受ケタルハ之ガ調査ヲナシ速ニ納付ノ手續ヲナスベシ

第十六條 納金者ハ徵收令書ニ割印ヲ捺セル甲號ヲ得ルヲ以テ納付済ノ證トス

第十七條 教會長ハ部長ヨリ徵收金皆納ノ通知書ヲ得ルヲ以テ納付済ノ證トス

第十八條 教會所又ハ教師ニ於テ徵收金ノ免除若クハ猶豫ヲ乞ハントスル時ハ其事實ヲ詳記シテ部長ニ申出ヅベシ

雜則

第十九條 教師ニシテ一ケ年以上他教區ニ寄留スル者ノ徵收金ハ其所在地ノ支部ニ於テ徵收スベキモノトス

此場合ニ當リテハ所屬教會所ノ經由ヲ要セザルモノトス

○教會所細則

明治三十三年十一月廿二日 教令第八號

部 下 一 般

第一條 教會所ノ設置移轉改稱等ヲナサントスルトキハ別紙第一號乃至第四號ノ

○宗教取締ニ關スル府令ニテハ其取締規則ヲ

○本支部賦課徴収細則

明治三十三年十一月廿二日
故令第七七號

部下一般

二十八

第一章 本部

第一條 本支部賦課徴収法規則第二條第三條ニ依リ本部ヨリ納金者ニ對シ發スル徴収令書ハ第一號第二號様式ニ依リ全規則第五條及教則第三十六條ニヨリ徴収スベキモノハ第三號乃至第六號様式ニ依リ收納期日一ヶ月以前ニ各部長ニ發布ス

第二條 各部長ニ於テ徴収令書ヲ受領シタルトキハ期日廿日以前ニ各教會長ニ交付スベシ

第三條 前條ノ場合ニ當リ各教會長ニ於テハ直ニ徴収令書ヲ納金者ニ配付シ其教會所ニ賦課スル年金ト共ニ取纏メ徴収令書ヲ添附シテ期日内ニ所屬支部ニ納付スベシ

第四條 部長ハ徴収令書ヲ交付ノ後納期以前ニ於テ各納金者又ハ納額ニ異動ヲ生ジタル片ハ直ニ其旨ヲ納金者ニ通知スルト共ニ本部會計課長ニ申告シテ更ニ徴

収令書ヲ乞フベシ本部ニ於テ徴収令書ヲ發布シタル後納期以前ニ於テ各納金者納額ニ異動ヲ生ジタル片ハ曩ノ徴収令書ヲ更正スベシ

第五條 納金者ヨリ徴収金ヲ納付シタル片ハ部長ニ於テ徴収令書ニ割印ヲ捺シテ甲號ヲ納金者ニ交付シ丙號ニ徴収金ヲ添ヘテ別ニ定メタル期日迄ニ本部會計課ニ納付スベシ

第六條 納金者ハ其所轄教區部長ノ割印ヲ捺セル徴収令書甲號ヲ受領セルヲ以テ納金済ノ證トス

第七條 本部會計課長ニ於テ徴収金ヲ受領シタルトキハ各其帳簿ニ記入シ會計課長ノ捺印セル收入既済ノ通知書ヲ部長ニ送付シ徴収令書丙號ヲ別ニ保管スベシ但シ未済ノ者アル片ハ其旨ヲ附記スベシ

第八條 部長ニ於テ會計課長ヨリ收入未済ノ通知ヲ受ケタルトキハ是レガ調査ヲナシ速ニ納付ノ手續ヲナスベシ

第九條 部長ニ於テハ本部會計課長ヨリ皆済ノ通知書ヲ得テ納金済ノ證トス

第十條 教會所又ハ教師ヨリ本支部賦課徴収法規則第八條ニ依リ徴収金ノ免除又

ハ猶豫ノ願出アリタル片ハ部長ニ於テ其事實ヲ調査シ是認ノ上ハ管長ニ申請ス
ベシ

第二章 支部

第十一條 本支部賦課徵收法規則第十條及第十一條ニヨリ支部ヨリ納金者ニ對シ
發スル徵收令書ハ第七號第八號様式ニ據リ全規則第十二條ニヨリ徵收スベキモ
ノハ第九號第十號様式ニ據リ收納期日二十日以前ニ各教會長ニ配布スベシ

第十二條 前條ノ場合ニ當リテハ教會長ハ第三條ノ手續ニ據ルベシ

第十三條 教會長ハ徵收令書交付ノ後納期以前ニ於テ各納金者又ハ納額ニ異動ヲ
生ジタルトキハ直ニ其旨ヲ納金者ニ通知スルト共ニ部長ニ申出ツベシ部長ハ徵
收令書發布ノ後納期以前ニ於テ各納金者又ハ納額ニ異動ヲ生ジタルトキハ逕ノ
徵收令書ヲ更正スベシ

第十四條 部長ニ於テ納金者ヨリ徵收金ヲ納付シタル片ハ各其帳簿ニ記入シ徵收
令書ニ支部長印章ヲ捺シテ甲號ヲ納金者ニ返付シ乙號ヲ別ニ保管スベシ
但シ未濟者アル片ハ其旨教會長ニ通知スベシ

第十五條 前條ノ場合ニ當リテ教會長收入未濟ノ通知ヲ受ケタル片ハ之ガ調査ヲ
ナシ速ニ納付ノ手續ヲナスベシ

第十六條 納金者ハ徵收令書ニ割印ヲ捺セル甲號ヲ得ルヲ以テ納付済ノ證トス

第十七條 教會長ハ部長ヨリ徵收金皆納ノ通知書ヲ得ルヲ以テ納付済ノ證トス

第十八條 教會所又ハ教師ニ於テ徵收金ノ免除若クハ猶豫ヲ乞ハントスル時ハ其
事實ヲ詳記シテ部長ニ申出ツベシ

雜 則

第十九條 教師ニシテ一ケ年以上他教區ニ寄留スル者ノ徵收金ハ其所在地ノ支部
ニ於テ徵收スベキモノトス

此場合ニ當リテハ所屬教會所ノ經由ヲ要セザルモノトス

○教會所細則

明治三十三年十一月廿二日
教令第八號

部 下 一 般

第一條 教會所ノ設置移轉改稱等ヲナサントスルトキハ別紙第一號乃至第四號ノ

○宗教取締
ニ關スル府
縣令ヲ發布
セル府縣ニ
アリテハ其
取締規則ヲ

書式ニ準シ教規教則教令ニ依リ所轄支部ヲ經由シテ管長ノ認可ヲ得行政上ノ手續ヲ經ルモノトス●

但シ廢合等ノ節ハ事情ヲ詳記シテ其都度手續ヲ伺ヒ出ツベシ

第二條 教會所ノ名稱ハ其所在地ノ地名ヲ冠シ金光教何々教會所又ハ金光教何々小教會所ト稱ス但シ地名ニ於テ他ニ支障ヲ生ズルトキハ本部へ經伺ノ上撰定スルモノトス

第三條 各教會所ニハ左ノ雛形ニ準ジテ門柱ニ標札ヲ掲クベキモノトス

金光教 何々(小)教會所

第四條 各教會所等級ヲ分チテ一等ヨリ八等トナシ五等以上ヲ教會所トシ六等以下ヲ小教會所トス

第五條 新タニ教會所ヲ出願スルモノハ其等級ヲ八等トシ幣帛料トシテ金拾圓ヲ納入スルモノトス

第六條 教會所ノ等級ハ左ノ標準ニ依ル

教會所等級	教徒	信徒	年	金
一等教會所	三百人以上	三千人以上	全	上
二等教會所	二百人以上	二千人以上	全	上
三等教會所	百五十人以上	千五百人以上	全	上
四等教會所	百人以上	千人以上	全	上
五等教會所	六十人以上	六百人以上	全	上
六等小教會所	三十人以上	三百人以上	全	上
七等小教會所	二十人以上	二百人以上	全	上
八等小教會所	○	五十人以上	全	上

教則第十三號第二條規程ノ額ヲ納入スルモノ

第七條 教會所ノ等級進退ハ所轄教區部長ニ於テ意見ヲ附シテ管長ニ開申スルモノトス

第八條 教會長ハ屬員又ハ所屬教師教徒信徒ノ褒賞ニ關スル意見ヲ管長ニ開申ス

第九條 教會長ハ所屬教師教徒信徒ノ名簿ヲ監督ス

第十條 教會長ハ各種ノ事務進達ノ外前月末ニ於ケル左ノ要項件數ヲ別紙第八號書式ニ準ジ毎月五日迄ニ所轄支部へ届出ツル者トス

禮典 恒例祭 臨時祭 祝式(結婚成年誕生式等ノ類) 葬儀

但春秋ノ定期靈祭以外ノ靈祭ハ臨時祭トス

定期説教 日數 度數 聽衆數

臨時説教 日數 度數 聽衆數

職員現在數及増減 褒賞 懲戒

教師現在數及増減 褒賞 除名

教徒現在數及増減 褒賞 除名

信徒現在數及増減 褒賞 除名

第十一條 教會長ハ別紙第九號ノ書式ニ準ジ毎年六月三十日ト十二月三十一日トニ於ケル每半年度表ヲ調製シテ各翌月五日迄ニ支部ニ差出スベシ

○四〇達第
二號ヲ參照
セヨ

第十二條 教會長ハ教則第十四號第四條ノ規定ニヨリ教徒タラントスルモノ、出

願ニ對シ謹重ナル祭典ヲ執行シ神前ニ於テ左ノ雛形ニヨリ承認狀ヲ授ク

但シ教徒ノ願ニ依リ其祖先ノ靈ヲ神式ニ改祭ス此場合ニハ其靈ヲ教會所ノ祖

靈殿ニ合祀スルモノトス

第十三條 教會長ハ教則第十四號第三條ノ規定ニヨリ信徒タラントスル者ノ届出

ニ對シ主神ニ奏上シ左ノ雛形ニ依リ認鑑ヲ授ク

第十四條 教會長ニ於テ前二條ノ願届書ヲ受理シタル片ハ直チニ教徒信徒ノ名簿

ニ記載シ該書類ハ別ニ保管スベキモノトス

但シ教徒名簿ハ美濃罫紙十行ニシテ表裝ハ大和錦又ハ絹表裝トシ原籍現住族

稱姓名生年月日職業舊教宗派名各人ノ異動等ヲ記載シ信徒名簿ニハ美濃罫紙

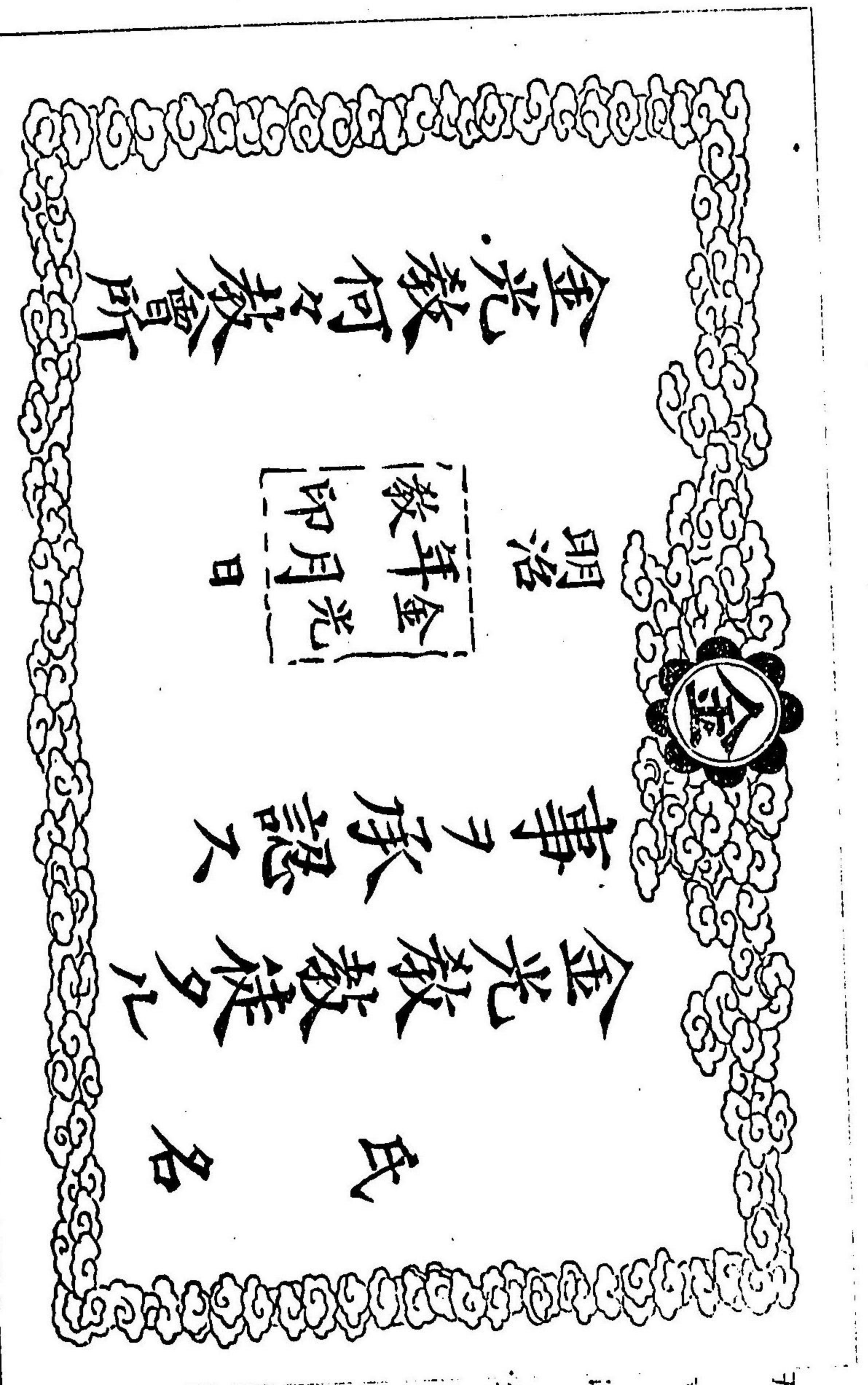
十行ヲ用ヒ原籍現住族稱姓名生年月日職業各人ノ異動等ヲ記載シ各別ニ調製

シ置クベキ者トス

第十五條 教會長變更ノ節ハ別紙第五號第六號書式ニ準シテ届出ツベキモノトス

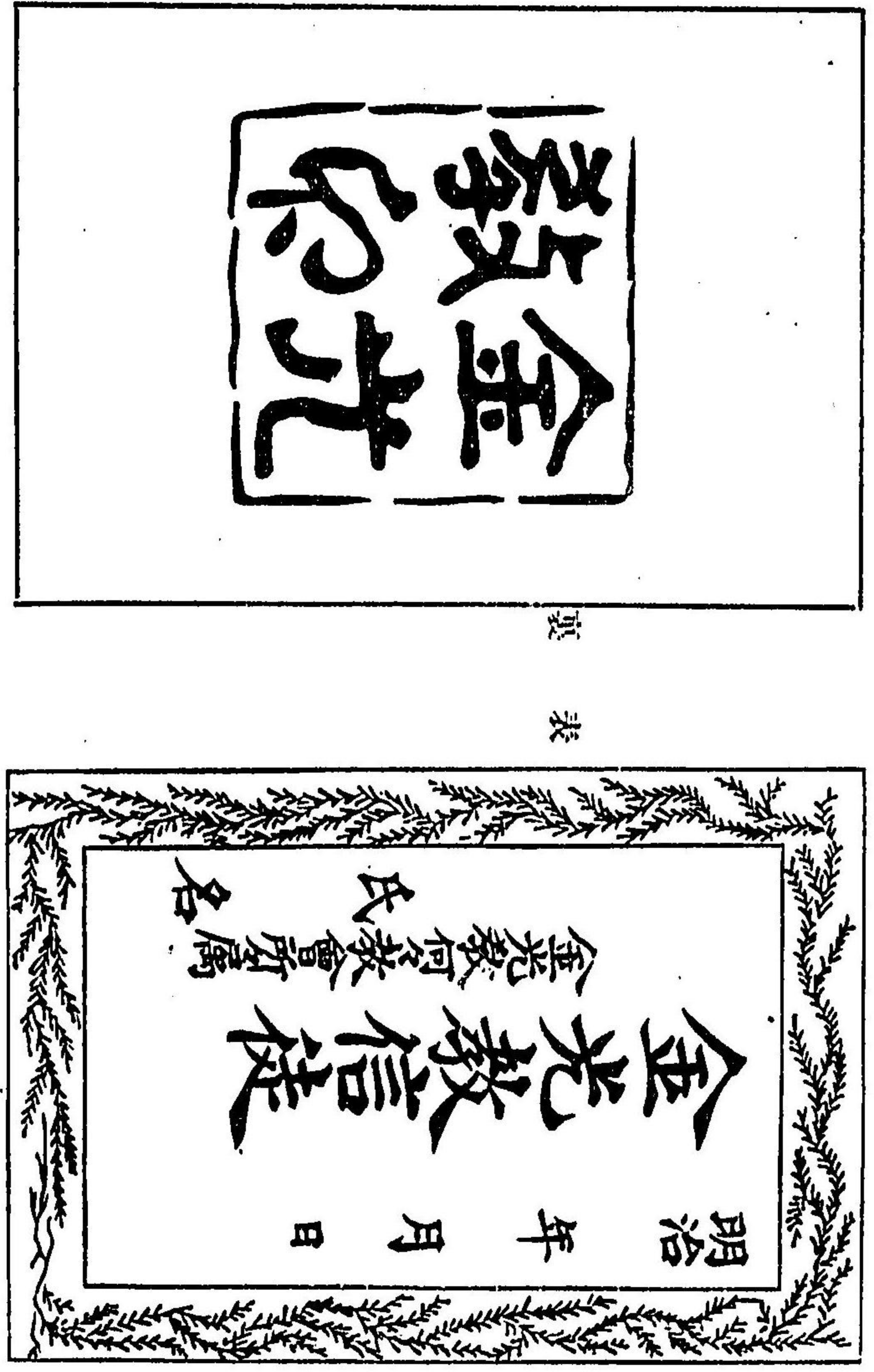
○府縣ニヨ
リテハ特別
手續ヲ要ス
ルコトアリ
注意

(第十二條規定承認狀雛形)



子ノ鳥紙用 分四寸七

(第十二條規定認鑑ノ雛形)



三寸一分

裏表

分三寸二

第十六條 副教會長ハ教會長ノ推選ニヨルモノトス

但シ管長ニ於テ特命スルコトアルベシ

第十七條 教會所ニハ三名以上ノ信徒惣代ヲ選定シ異動ノ節ハ別紙第七號雛形ニ準ジ管長及地方廳ニ届出ツベシ

第十八條 教會所内ノ事務ヲ分掌整理スル爲メ左ノ三部ヲ置ク

第一部

一 禮典布教ニ關スル事項

一 事務書類及教師教徒信徒名簿並ニ進退ニ關スル事項

第二部

一 金錢出納ニ關スル事項

一 土木工事及購求品ニ關スル事項

一 什器一切ノ管理ニ關スル事項

第三部

一 一切ノ統計事務ニ關スル事項

一 其他一切ノ庶務ニ關スル事項

第十九條 各部ニ主管一名係員若干名ヲ置ク

第二十條 各部主管ハ教會長ノ指揮ヲ受ケテ各部事務ヲ掌理ス

第二十一條 各部ノ係員ハ主管ヲ佐ケテ事務ヲ整理ス

附 則

第廿二條 前諸條ノ外實施上必要ノ規定ハ教會長ニ於テ之ヲ定メ管長ノ認可ヲ經ベキモノトス

但シ大教會所ノ規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第廿三條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第廿四條 本令中特ニ地方廳ノ命令アリタルモノハ其地方教會所ニ限り管長ノ承認ヲ經テ變更スルコトヲ得

(一號、用紙美濃十行、三通)

金光教何々(小)教會所設置願

(府縣郡市)ニ於テ本教信徒追々増加致永續ノ目途相立候ニ付教義擴張ノ便宜ヲ以
(町村)テ(何町村誰ノ家屋ヲ借受ケ又ハ何町村)教規教則教令等ノ御規程ニ因リ金光教何等何々
(ニ本教々則第九號ニ準ジテ新築ナシ)教會所ヲ設置仕度候間御認可ノ上何(府縣)廳へノ出願書ニ御添書被成下度則チ別紙
 圖面(及本教會規程)相添へ信徒惣代連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

住所

信徒惣代 氏 名 ④

(三名以上連署)

(若シ借宅ナレバ此處ニ家主或ハ差配人ノ住所氏名ヲ記シ捺印スルモノトス)

住所

右何々(小)教會長

教師稱號 氏 名 ④

管 長 宛

(二號、用紙美濃十行、三通)

金光教何々(小)教會所設置願

今般(縣府)下(國郡市)ニ於テ本教信仰ノ徒有之候ニ付テハ布教擴張ノ爲メ(郡市町)何某
(村番地)ノ家屋ヲ借受ケ又ハ新築ナシ)金光教何々(小)教會所設置仕度候間御認可被成下度則チ別紙圖面并ニ
 金光教規教則(及當教會所規程)相添へ信徒惣代連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

住所

信徒惣代 氏 名 ④

(三名以上)

(借家ナレバ此處ニ家主或ハ差配人ノ氏名ヲ記シ捺印スルモノトス)

住所

右何々(小)教會長

教師稱號 氏 名 ④

知 事 宛

(三號、用紙美濃十行、二通)

(移轉)願

所在地

金光教何々(小)教會所

所在地

金光教何々(小)教會所

(朱書トスベシ)

右ハ從來前標墨書ノ通御認可相成居候處今般(布教上ノ都合ニ依リ)(五等ニ昇級致候ニ依リ)朱書ノ通り(何誰所有ノ家屋ヲ借受ケ又ハ本)(移轉又ハ改稱又)致度候ニ付御認可ノ上別紙何(府)廳へノ届書ニ御添書被成下度圖面相添へ此段奉願候也
年月日

住 所

信徒惣代

氏 名 ①

(二名以上)

(借家ナレバ此處ニ家主或ハ差配人ノ氏名ヲ記シ捺印スルモノトス)

(新築ト雖モ借地ナル時ハ此處ニ地主ノ氏名ヲ記シ捺印スルモノトス)

住 所

右何々(小)教會長

教師稱號 氏 名 ①

管 長 宛

(四號、用紙美濃十行、三通)

(移轉)届

所在地

金光教何々(小)教會所

所在地

金光教何々(小)教會所

(朱書トスベシ)

右ハ從來前標墨書ノ通設置御認可相成居候處今般(布教上ノ都合ニ依リ)(進級ノ結果)朱書ノ通(何誰所有ノ家屋ヲ借受ケ又ハ本)(移轉又ハ改稱又)致候ニ付別紙圖面相添へ信

徒惣代連署ヲ以テ此段御届仕候也

年月日

住所

信徒惣代 氏 名 ⑩

(三名以上)

(借家ナレバ此處ニ家主或ハ差配人ノ氏名ヲ記シ捺印スルモノトス)

(新築ト雖モ借地ナル時ハ此處ニ地主ノ氏名ヲ記シ捺印スルモノトス)

住所

右何々(小)教會長

教師稱號 氏 名 ⑩

知事宛

(五號、用紙美濃十行、二通)

教會長變更願

所在地

金光教何々(小)教會所

右ハ從來教師稱號何某ヲ教會長ニ御認可相成居候處(月日死亡)致候ニ付テハ教師稱號何某ヲ後任教會長ト選定仕度候間御認可ノ上ハ別紙何(縣府)廳ヘノ届書ニ御添書被成下度連署ヲ以テ此段奉願候也

年月日

住所

信徒惣代 氏 名 ⑩

(三名以上)

管長宛

(六號、用紙美濃十行、三通)

教會長變更届

所在地

金光教何々(小)教會所

右ハ從來教師稱號何某ニ於テ教會長致居候處(月日死亡又ハ辭職)致候ニ付拙職義後任教會長ト相成候條此段信徒惣代連署ヲ以テ御届仕候也

年月日

住所

信徒惣代 氏 名 ⑩

(三名以上)

住所

右何々(小)教會長

教師稱號 氏 名 ⑩

知事宛

(七號、用紙美濃十行、二通)

信徒惣代變更届

住所

氏 名 ⑩

(外何名ニテモ連署スベシ)

當教會所從來何某ヲ以テ信徒惣代ト取定居候處(月日死亡又ハ辭職)致候ニ付テハ前記ノ者ヲ以テ自今信徒惣代ト致候ニ付此段御届仕候也

年月日

住所

金光教何々(小)教會長

教師稱號 何 某 ⑩

管長宛

知事宛

(八號、用紙半紙)

備考	合計	月	月	月	月	月	月	件數		師		徒		備考	合計	月	
								現	在	現	在	現	在				現
								男女計	男女計	褒賞	懲戒	褒賞	除名	男女計	男女計	褒賞	除名
								増減	増減	除名	除名	増減	増減	増減	増減	除名	除名

明治 年 月

金光教何々(小)教會長

教師稱號

氏

名

印

○給費生規程

明治三十四年二月二十七日
教令第一號

部 下 一 般

第一條 本部ニ金光中學校卒業及金光教々義講究所卒業期間十人ヲ限り給費生ヲ置キ其課程ヲ修了セシム

第二條 給費生ハ左ノ各項ニ該當セルモノ、中ヨリ選抜ス

- 一 教徒以上ノ子弟ニシテ學資支辨ノ力ナキモノ
 - 二 資性濫良品行方正身体強壯學業優等ナルモノ
 - 三 尋常小學校ヲ卒業シタル者及舊高等小學校令第二學年以上ノ課程ヲ修メタル者
 - 四 前項ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノニシテ金光中學校規則ニ準シ入學試験ニ及第セシモノ
- 第三條 給費生ノ選抜順序ハ左ノ標準ニヨル
- 第一 支部正副部長及正副教會長ノ子弟

- 第二 教師ノ子弟
- 第三 教徒及教徒ノ子弟
- 第四條 給費生ハ終身本教ニ從事スベキ義務ヲ有ス
- 第五條 給費生ニシテ卒業後前條ノ義務ヲ履行セザルハ既給費ノ全部ヲ徴收ス
- 第六條 給費生ハ必ズ金光中學校寄宿舎及金光教々義講究所修德殿ニ收容スベキモノトス
- 第七條 給費生ニシテ戒飭ヲ受クルノ行爲アリタル者ハ其輕重ヲ問ハズ爾後給費ヲ停止シ既給費ヲ徴收ス
- 第八條 給費生志願ノモノハ左ノ書式ニ依リ學業履歷書ヲ添へ出願スベシ

給費生願

原籍

現住所

族稱(本教ニ關スル身分)戸主(又ハ戸主トノ續柄)

姓

名

年月日生

右者給費生規程ニ基キ御選抜ニ預リ申度候御許容ノ上ハ御規程ノ件々確守可仕

也
ハ勿論本人身元ノ義ハ保證人ニ於テ必ス引受可申依テ履歷書相添へ此段奉願候也

年月日

右

本人 姓 名 ①

住所

保證人 姓 名 ①

金光教何々(小)教會長

保證人 姓 名 ①

金光教管長大教主 氏 名 殿

第九條 保證人ハ必ス二名ヲ要ス但シ一名ハ戸主父兄若クハ近親或ハ教師ニシテ一名ハ所屬教會長タルベシ

但シ教會長ノ子弟ハ其教區内ノ他ノ教會長ニ於テ保證スベキモノトス

第十條 保證人ハ本人ノ身元引受ケノ責任アルベキモノトス

第十一條 支部々長ニ於テ給費生ノ出願アリタルトキハ本規程ニ準シ精査ヲ遂ゲ
證明書ヲ添付スベキモノトス

但シ部長ノ子弟ニシテ給費生タラントスルトキハ本部上長ニ於テ證明書ヲ添
付スベキモノトス

〇四〇監第
十二號參照

〇教師昇級規程

明治三十五年一月二十二日
教令第一一號

教師一般

第一條 本教々師昇級年限ハ三級ヨリ六級マデハ每級在職滿七年七級ハ滿六年八
級以下十二級マデハ每級在職滿四年十三級以下ハ每級在職滿三年トシ各當該理
事者ノ選舉ニヨリ教監專掌ノ銓衡ヲ經テ昇級スルモノトス
但シ二級ノ昇級ハ管長ノ特命ニヨルモノトス
第二條 本部支部ノ職員及教會長副教會長ノ職ニアルモノハ第一條ノ年限ヲ每級
一年ヲ短縮スルモノトス

第三條 教師中本教々義上著シキ功勞アルモノハ教監及部長ノ選舉ニヨリ教監專
掌ノ銓衡ヲ經テ第一條ノ年限ヲ短縮シ又ハ一階ヲ越級スルコトヲ得此場合ニ於
テハ教監及部長ハ詳細ナル理由ヲ具シ管長ニ上申スベキモノトス
但短縮又ハ越級スベキ功勞者ニシテ在職年限同シキ時ハ其功勞ノ特著ナルモ
ノニ付教監專掌ノ銓衡ノ上特ニ管長ノ裁定ヲ仰グベキモノトス

〇典樂部規則

明治三十五年四月一日
教令第三三號

第一條 教務課内ニ典樂部ヲ設ケ左ノ職員ヲ置ク

- 一 樂長 一名
- 一 樂手 若干名
- 一 舞人 若干名

第二條 樂長ハ管長之ヲ命免シ樂手ハ樂長ノ推舉ニ依リ管長之ヲ命免ス

第三條 舞人ハ樂長ノ推舉ニヨリ教監之ヲ命免ス

第四條 樂長ハ典樂ニ關スル一切ノ事務ヲ統理シ教授且奏樂ヲ掌ル

第五條 樂手ハ奏樂ヲ掌リ舞人ハ舞伎ニ從事ス

第六條 樂器ハ教務課長之ヲ保管ス

第七條 典樂部ニ於テ樂手及舞人ノ養成ヲ爲ス

第八條 樂長樂手及舞人ハ本教内各教會所ノ祭典式禮等ニ際シ招聘ニ應ズル事ヲ得

附 則

第九條 本規則施行上必要ナル細則ハ教務課長及樂長ニ於テ之ヲ定ム

第十條 樂長樂手及舞人等ノ服裝ハ別ニ定ムル處ニ依ル

○巡教師任命規程

明治三十七年三月二十日
教令第一二號

部 下 一 般

第一條 巡教師ハ本部ニ於テ一定ノ講習ヲ終ヘタル者又ハ相當ノ訓練ヲ受クタル者ノ内ヨリ之ヲ選拔ス

第二條 巡教師ノ等級ハ一等ヨリ準五等ニ至ル

第三條 巡教師ノ等級ハ左ノ教師稱號ニ相當スルモノトス

一等	準一等	二等	準二等	三等	準三等	四等	準四等	五等	準五等
大教正	權大教正	中教正	權中教正	少教正	權少教正	大講義	權大講義	中講義	權中講義

○巡教規程

明治三十七年三月二十日
教令第一二號

第一條 巡教ヲ分チテ左ノ三種トス

第一種 本部ヨリ特ニ派出スルモノ

第二種 一ヶ教區又ハ數教會所ノ聯合請願ニ對シ派出スルモノ

第三種 一ヶ教會所ヨリ祭典其他ノ場合ヲ以テ請願シタルモノニ對シテ派出スルモノ

第二條 第一種巡教ハ管長之ヲ告示ス

第三條 第二種巡教ハ支部又ハ聯合教會所ニ於テ豫メ日割表ヲ添ヘ少クトモ三十日以前ニ請願スルモノトシ第三種ハ二十日以前ニ之ヲ請願スルモノトス
但シ臨時至急ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

第四條 第二種第三種ノ請願者ハ巡教師ヲ指定スルヲ得ズ
 第五條 第一種巡教旅費ハ本部ニ於テ之ヲ支辨シ第二種ハ其請願シタル支部又ハ聯合教會所ノ負擔トス尤モ其狀況ニ因リ本部ヨリ支辨スルコトアルベシ第三種ハ請願教會所ノ負擔トス

○巡教師其服制ニ關スル規程

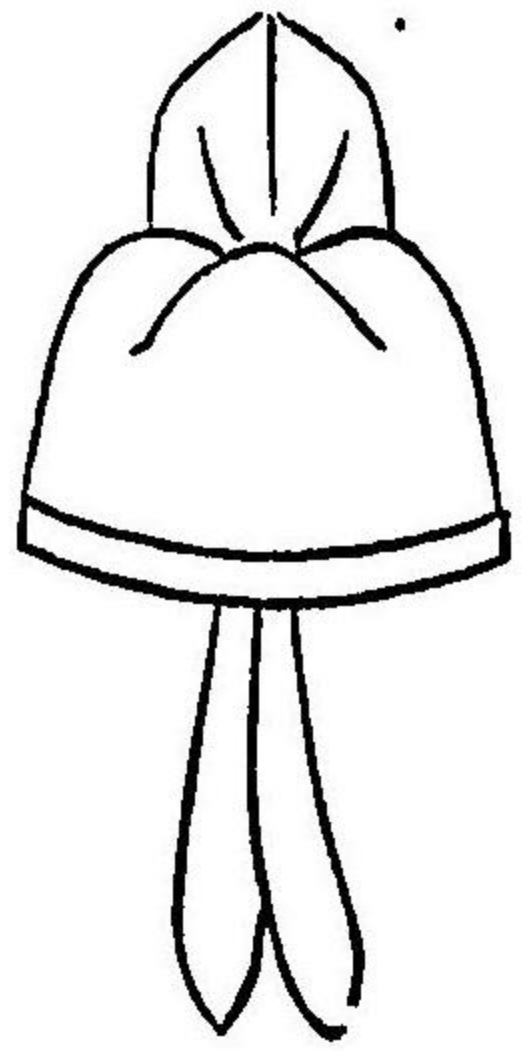
明治三十七年三月二十日
 教令 第三三三號

部 下 一 般

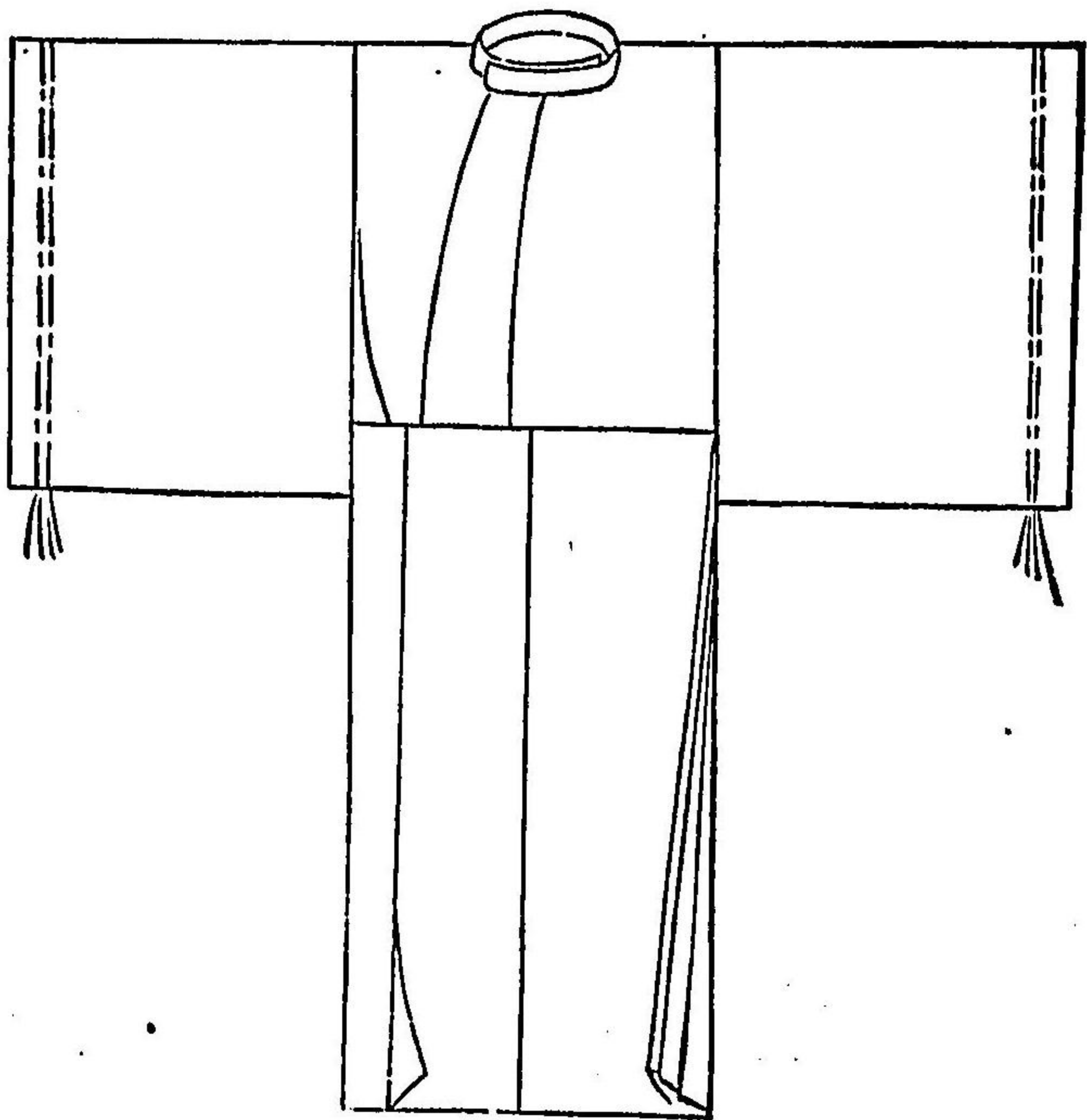
第一條 各地巡教ノ爲メ巡教師ヲ置ク
 第二條 巡教師ハ講義以上ノ教師ニ就キ管長之ヲ任命ス
 第三條 巡教師ノ爲メ特ニ制服ヲ設ケ之ヲ教衣ト稱ス
 但シ場合ニヨリ通常教師制服着用ニテ講座ニ上ルモ妨ナシ
 第四條 巡教師制服ハ左ノ雛形ノ如クシ教正ハ黑色又ハ黒茶色ノ有紋或ハ無紋トシ講義ハ黑色又ハ黒茶色ノ無紋トス
 第五條 教衣ヲ着用スル場合ニハ左ノ雛形ノ烏帽子ヲ用フベキモノトス但シ教正

用ハ黑色有紋講義用ハ黑色無紋トス

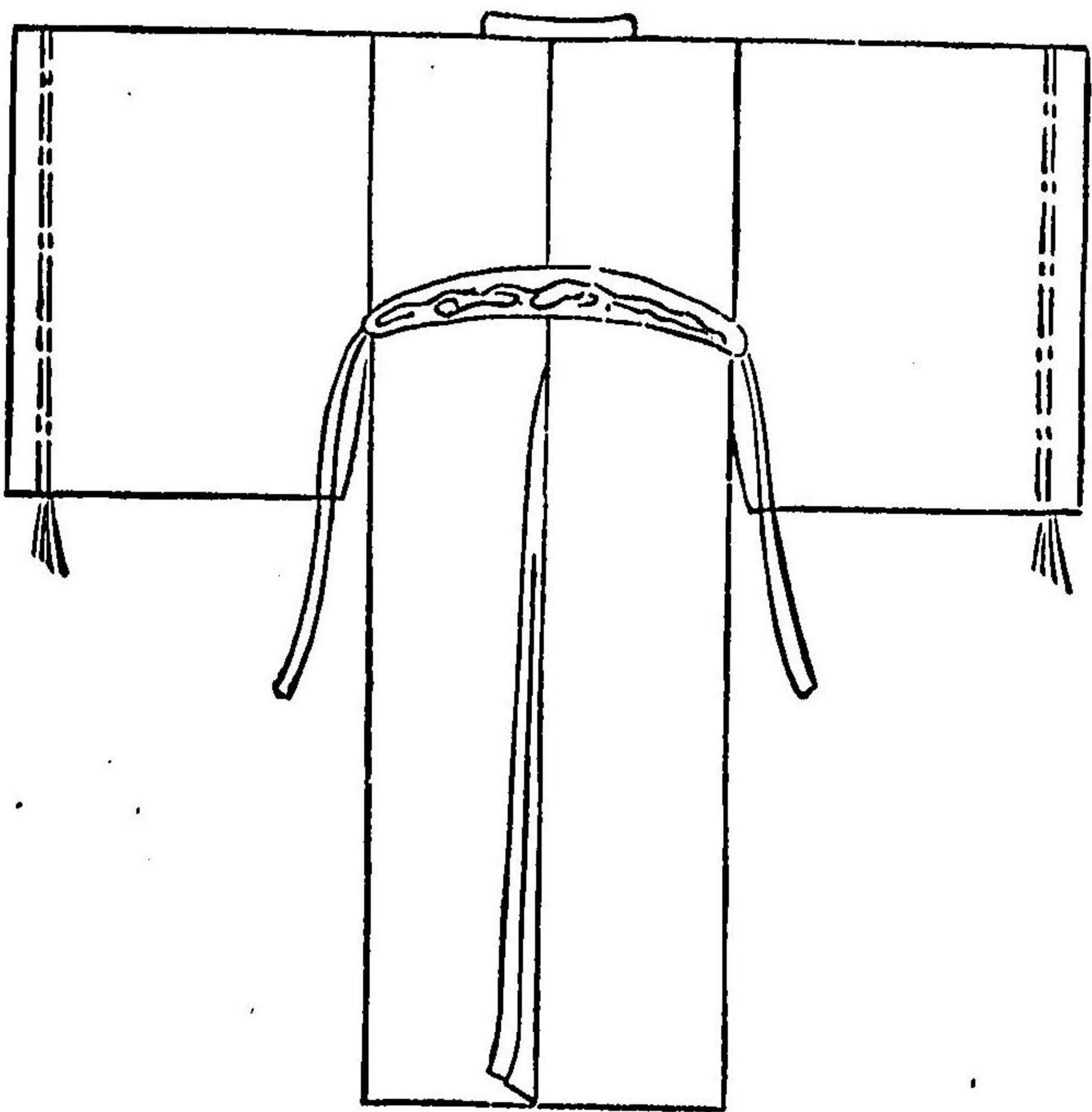
教衣 前面



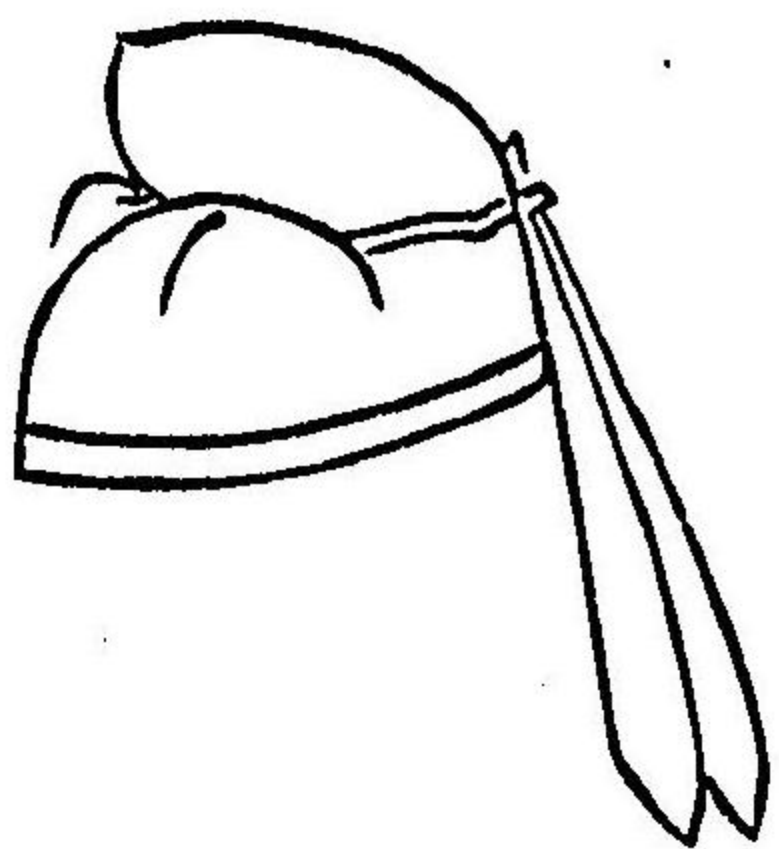
教烏帽子 正面



教衣後面



教烏帽子側面



○東京及横濱特別布教規程

明治四十年六月廿七日
四〇教令第一號

東京及横濱市内教會長一般

東京及横濱布教成績如何ハ本教全般ノ上ニ關スルヲ以テ本部ハ特ニ東京及横濱布教ノ統一ヲ圖リ地方布教ノ摸範ヲ示ス爲メニ左ノ二項ヲ定メ此旨相達ス

- 一 本部出張所詰專掌ハ出張所常務ノ外東京及横濱布教ノ監督ヲ爲スヘキ事
- 一 本部出張所詰專掌ハ東京及横濱地方各教會長ト合議シ特ニ一定ノ布教方法ヲ定メ管長ノ認可ヲ經ベキ事

○教師新補幣帛料規程

明治四十一年三月十日
四一教令第三號

部 下 一 般

新ニ教師補命ヲ出願スルトキハ幣帛料トシテ金參圓ヲ納入スベキモノトス
本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ施行ス

○韓國布教管理規程

明治四十一年六月十八日
四一教令第六號

在韓國教師一般

- 第一條 布教管理者ハ教規教則教令其他ノ命令ニヨリ其韓國内一切ノ事務ヲ管掌ス
- 第二條 布教管理者ハ其事務所ニ充ツル一定ノ土地ヲ選ビ管長ノ承認ヲ經其筋ニ届出ツルモノトス
- 第三條 布教管理者ハ韓國内ノ職員ヲ監査シテ其行狀ヲ管長ニ具申シ又教師ノ進退黜陟ニ關スル意見ヲ具申スルコトヲ得
- 第四條 布教管理者ハ韓國内ニ於ケル各教會所ノ廢置分合移轉等ニ關シ行政上ノ手續ヲ經ル以前ニ於テ本部ニ申請シ及各教會所ノ等級ヲ調査上申スベキ者トス
- 第五條 布教管理者ハ毎月韓國内ニ於ケル教務一切ノ統計表ヲ調製シ且六月三十日十二月三十一日ノ兩半年毎ノ統計表及教師員數表ヲ作り各翌月十五日マデニ本部ニ差出スベシ
- 第六條 布教管理者ハ教會所規程ノ改廢及其他必要ナル規程ヲ設ケントスルトキハ其都度本部ニ届出ツベキモノトス

第七條 布教管理者ハ精細ナル主計簿及事務統計表ヲ作り布教管理所内ニ備置クベキモノトス

附 則

- 第八條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
- 第九條 布教管理所ノ經費ハ別ニ定ムル所ニ據リ本部ヨリ支給ス
- 第十條 本令中特ニ統監府及理事廳等ノ命令アリタルモノハ管長ノ承認ヲ經テ變更スルコトヲ得

○韓國布教管理所書記規程

明治四十二年六月一日
四二教令第一號

部 下 一 般

韓國布教管理所ニ書記一名若クハ二名ヲ置キ布教管理者ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事セシム

但書記ハ本教教師ニシテ布教管理者ノ推薦ニ依リ管長之レヲ命免ス

達及通牒

○寄留教師ハ其所在地支部ニ於テ監督スベキ件
明治三十三年十月廿二日 達 第十號

本支部各教會長及教師一般

各教區部内教師ニシテ一ケ年以上他教區ニ寄留スルモノハ其旨必ズ所屬教會所ニ届出ツベキモノトス此場合ニ當リテハ其所在地教區支部ニ於テ監督シ年金及臨時徴收金等モ凡テ其支部ニ徴收スベシ

但シ教師昇級其他褒賞懲戒ニ關シテハ所屬教會長ニ照議スベキモノトス

○本教錄事掲載ノ件
明治三十八年十二月二十日 三八達 第一三號

部 下 一 般

從來本教錄事ハみかけ誌上ニ掲載シタルガ自今大教新報紙上ヲ以テ告示致スベク候此旨相達ス

○求信者名簿調製保管ノ件
明治四十年二月十七日 四〇達 第二號

部 下 教 會 所

自今教會所ニハ教規第四十二條規定「信徒タラントスル者」ノ取扱ニ關シ別紙ノ様式ニ準シ求信者名簿ヲ調製保管スベシ此旨相達ス

別紙用紙半紙(甲號)

丁數	家族丁數	戶主姓名	丁數	家族丁數	戶主姓名	丁數	家族丁數	戶主姓名

求信日付	業職	所住	求信日付	業職	所住
年 月 日	姓 名 主 柄		年 月 日	姓 名 主 柄	
考備	名姓		考備	名姓	
	齡年			齡年	

○支部及教會所以下ノ印章寸法ノ件

明治三十三年八月三日
教 監 通 牒

各支部々長宛

今般支部及教會所以下ノ印章寸法之義左記ノ通決定候間該寸法ニヨリテ製刻相成

度此段申入候也

支 部 印 九分

支 部 々 長 印 七分

部 長 辭 令 印 一寸五分

教 會 所 印 九分

教 會 長 印 尙分

教 會 長 辭 令 印 一寸二分

小 教 會 長 印 六分

小 教 會 所 印 七分

小 教 會 長 辭 令 印 一寸

○轉屬又ハ寄留教師取扱ニ關スル件
明治三十三年八月三日
教 監 通 牒

各支部々長宛

其部内各教師ニシテ他教區ニ轉屬又ハ於テケ無以出寄留セシムル者ハ左項ノ手續ニヨラシムベシ

一他教區ニ轉屬セントスル教師ハ其理由ヲ詳記シ所屬教會長及其所屬スベキ教會長トノ連署ヲ以テ其所轄支部々長無願出ツベキモノ限ス書面ニ通シテ

二第一項ノ場合ニ當リ部長ハ該願一通ヲ保管シ他ノ一通ニ添書シテ其轉屬スベキ部長ニ送附スベキモノトス

三一ヶ年以上他教區ニ寄留セントスル教師ハ其理由ヲ明記シテ所屬教會長ニ届出ヅベキモノトス此場合ニ當リ其教會長ハ速ニ所屬支部々長ニ申出ヅベキモノトス

四前項轉屬ノ願又ハ寄留ノ申出ヲ受理セン部長ハ直ニ其旨支部教務課長へ申告スベキモノトス

右通牒ニ及ビ候也

○本部御用始並御用終執務時間ノ件

明治三十三年十二月十五日
教 監 通 牒

各支部々長宛

金光教本部執務日時

一 毎年一月五日御用始メ

一 全十二月廿八日御用終

一 毎日午前八時ヨリ午后四時迄

日ノ長短ニ依
リ變更ス

但シ日曜日ハ休業ノコト

右之通相定メラレ候條此段及通牒候也

○下達上申ヲ稽緩遅延ス可ラザル件

明治三十四年一月廿日
監 第 一 號

各支部々長宛
各教會 長宛

從來各部長又ハ各教會長ニ於テ下達上申等ノ事項ヲ漫リニ稽緩遅延シ爲ニ事ニ害アルヤノ向モ往々有之ヤニ認メラレ候カクテハ其事項ノ輕重ニ依リ夫々懲戒ニ附セラルベキ義ニ有之候條將來篤ト注意相成度此段命ニ依リ通牒ニ及ビ候也

○教徒信徒ニシテ教師ノ裝束ヲ着用シ及祭典ニ列席スル者ハ嚴重ニ制裁スベキ件

明治三十四年四月十五日
監 第 八 號

各支部々長宛

教徒或ハ信徒ニシテ往々教師ノ裝束ヲ着用シ祭典等ニ列席スルモノアルヤニ聞及候ガ若其部内ニ於テ斯ルモノ有之時ハ誠ニ不都合ニ付嚴重ニ制裁致スベキ様各教

會長ニ此旨御傳達相成度此段命ニ依リ通牒ニ及ビ候也

○教會所設置廢止移轉等ノ手續ヲ了リタル時ハ直ニ届出ヘキ件

各支部々長宛

明治三十四年七月二十三日
監 第 十 五 號

其部内教會所ニシテ設置廢止移轉改稱變更其他總テ管長ノ添書ヲ以テ地方廳へ願
届スベキモノニシテ其手續ヲ了リタルトキハ直ニ其趣ヲ本部教務課宛届出ツベキ
様夫々御傳達相成度此段通牒ニ及ビ候也
但シ指令ニ係ルモノハ其寫ヲ添フベシ

○祭典又ハ教説等ニ際シ他教派ノ教師ヲ聘傭ス可ラザル件

明治三十四年八月二日
監 第 十 七 號
各支部々長宛

從來部下各教會所ニ於テ祭典ノ執行又ハ説教開蕙等ノ場合ニ際シテ他教派ノ教師
ヲ聘傭シ濫リニ祭事ニ干與セシメ或ハ説教等ヲナサシムル向往々有之ヤニ認メラ
レ候カクテハ將來如何ナル弊害ヲ醸スヤモ計リ難ク候ヘバ之等ノ不都合ナキ様篤

ト御注意相成度此段命ニ依リ通牒ニ及ビ候也

○同教区内轉属教師取扱ノ件

明治三十四年九月二日
監 第 二 十 二 號

各支部々長宛

其部内教師ニシテ同教区内ノ教會所ニ轉属セントスルモノハ明治三十三年十月二
十一日付通牒「轉属又ハ寄留教師取扱ニ關スル件」ノ手續中第一項及第四項ヲ適用
スルモノト心得ラレ度此段通牒ニ及ビ候也

○本部新年拜賀日ノ件

明治卅五年十二月二十日
三五 監 第 三 二 號

各支部々長宛

從來本部新年拜賀日ノ儀ハ一月十一日ヨリ十三日マデノ處來ル三十六年ヨリ左ノ
通改定相成候條此段及通牒候也

一月 七日 八日 九日

○教會所新築又ハ改築ノ場合ニハ伺出ヲ要スル件

明治三十六年三月二十日
三六監第六六號

各支部々長宛

教會所ノ新築又ハ改築ノ場合ニ於テハ教則第九號教會所構造方式規則ニ準依スベキハ勿論ナルニ往々其方式ニ違ヒタル建築ヲナセルモノアリ右ハ甚ダ不都合ニ候條自今新築又ハ改築セントスルモノハ必ズ其構造雛形平面圖坪數設計及建築費ノ支出方法等詳細明記シ豫メ本部ニ伺出ツベキ様御傳達相成度此段命ニ依リ通牒ニ及ビ候也

○教師志願者ハ身分證明書ヲ要スル件

明治三十七年七月十日
三七監第十七號

各支部々長宛

從來教師認定願ニハ履歷書及戶籍謄本等ヲ添付セルガ自今志願者ノ身分證明書ヲモ併セテ添付シ差出スベキ様御傳達相成度此段通牒ニ及ビ候也
追テ身分證明願ハ保證教會長ヨリ別紙様式ニ準シ志願者原籍地ノ戶籍吏ニ請求スベシ

身分證明書

何府縣何市郡何區町村何番地何某ニ對スル左ノ件

- 一家資分散ヲ受ケシコトノ有無
- 一刑法ニ觸レシコトノ有無
- 一附加刑ニ觸レシコトノ有無

右御證明被成下度此段願上候也

年月日

所在地

金光教何々(小)教會長 何

某 團

市區町村戶籍吏宛

○教會所設置ノ目的ニテ布教ニ從事セントスル者ハ届出ヲ要スル件

明治三十七年九月三日
三七監第二一號

各支部々長宛

其部内教師ニシテ其教區内及他教區内ニ於テ教會所設置ノ目的ヲ以テ布教ニ從事

セントスルモノハ自今左ノ手續ニヨラシムベシ

一其教区内若シクハ他教区内ニ於テ教會所設置ノ目的ヲ以テ布教ニ從事セントスルモノハ豫メ其目的地ヲ詳記シ所轄支部々長ニ届出ツベシ

二前項規定ノ届出ニ接シタル部長ニ於テ支障アリト認メタルトキハ該届書ヲ受理スベカラズ

三第一項規定ノ届書ヲ受理シタル場合ニ於テ其布教目的地ノ他教区ニ屬スルモノハ直ニ其目的地ノ所轄支部々長ニ知照スベシ

四前項ノ知照ヲ受ケタル部長ハ其所轄内支障ノ有無ヲ復牒スベシ

五前項ノ復牒ニヨリ支障ナクシテ目的地ノ布教ニ從事スルモノハ直ニ轉屬シタルモノトシテ取扱フベシ

○教師死亡届ニ關スル件

明治三十七年九月三十日
三七七監第二九號

各支部々長宛

從來教師ノ死亡届ハ其遺族ヨリ差出シ來リタルガ自今ハ其所屬教會長ヨリ又教會

長ノ職ニアルモノハ其所轄支部々長ヨリ何レモ死亡後十日以内ニ届出ツベキ様致サレ度此段通牒ニ及ビ候也

○金光四神貫行之君例祭ノ件

明治三十七年十一月廿一日
三七七監第三四號

各支部々長宛

從來故教監金光四神貫行之君例祭ハ毎年陰曆十一月十三日ヲ以テ執行セラレタルガ自今陽曆十二月二十日ヲ以テ執行セラルベキ事ト相成候間爲心得此段通牒ニ及ビ候也

○祭典作法練習ノ件

明治三十八年四月十三日
三八八監第一一號

各支部々長宛

本教々師ニシテ祭典作法上往々違式ノ者有之ヤノ趣右ハ祭典ノ嚴肅ヲ闕キ秩序ヲ亂シ從テ神明ニ對シ恐多キ次第ナレバ豫テ本部出版ノ祭祝類典ニ就キ能ク練習シ不都合無之様奉仕致スベク尙教信徒中天津祝詞及大祓詞ヲ宣唱スルニ當リ言句ヲ

誤ルモノ多々有之斯クテハ合唱ノ統一ヲ闕グノミナラズ神威ヲ潰スノ嫌アレバ是等モ必ズ本部出版ノ天津祝詞及大祓詞ニ依リ假名字ニ能ク注意シ一字タリトモ讀違ヒセザル様夫々注意方御取計相成度此段通牒ニ及ビ候也

○本部大祭ニ於ケル正服用ノ件

明治卅九年二月二十五日
三九監 第四號

各支部々長宛

從來本部ニ於ケル大祭ニハ權中講義及三等教會長以上ノ列席教師ハ正服用ヲ着用スベキコト、相成居候處尙同教師ニシテ往々略服用フルモノアリ自今同資格ノ列席教師ニシテ略服用着用スルモノハ等級ノ如何ニ關ハラズ總テ正服用教師ノ次席ニ列セシメラル、コト、相成候間右御傳達相成度依命此段及通牒候也

○教會所ヲ設置セントスル時ハ擔當者ガ地所又ハ家屋ヲ所有スベキ必要アル件

明治四十年一月廿五日
四〇監 第二號

各支部々長宛

從來教會所ノ設置ニ付テハ十分慎重ヲ要ス可キモ拘ハラズ往々之ヲ輕視スルヤ

ノ嫌ヒアリテ甚シキハ設置後未ダ年ヲ超エザルニ移轉スルノ止ムヲ得ザルニ至ルモノアリ斯テハ教會所維持ノ上ニモ亦教勢發展ノ上ニモ好果ヲ收ムルコト能ハザルノミナラズ當事者ガ道ヲ念フ折角ノ苦心モ終ニ水泡ニ歸スルノ場合之ナシトモセズ其原因ニ至リテハ多々アル可シト雖モ一ハ設置ノ當初只管其出願ヲ急ギテ基礎ノ如何ニ深キ注意ヲ用ヒザルガ故ナラン今其基礎ヲ定ムル方法ノ一トシテハ少クトモ擔當者ガ教會所ヲ建築スベキ地所ヲ所有スルカ又ハ教會所ニ宛ツベキ家屋ヲ所有スルカノ必要之アル可ク候殊ニ教則第九號ノ規程ニ則リ改築ノ計畫ヲ立ツベキ期モ漸次目焦ニ迫リツ、アルノ際ナレバ自今教會所ヲ新設スルニ當リテハ特別ノ事情アラザル限りハ必右ノ方針ニ據ル可キモノトス此段依命及通牒候也

○教會所設置豫定届ノ効力ノ件

明治四十年一月廿六日
四〇監 第三號

各支部々長宛

三七監第貳號通牒ノ次第モ有之候處右教會所設置豫定届ノ義ハ自今届出ノ日ヨリ滿一ケ年ヲ經過シ尙設置ノ目的ヲ達セザルモノハ其効力ヲ失ヒタルモノト見做

スベシ但シ從前届出ノ分モ本文ヲ準用スベシ此段依命及通牒候也

○教徒信徒取扱ニ關スル件

明治四十年五月十七日
四〇監第一〇號

臺北教會長宛

本月五日付伺教徒信徒取扱ノ件無届ノ儘ニ轉住或ハ死亡等ノ移動ヲ生シ其名簿整理上ノ困難ハ思ヒヤラレ候へ共届出其他通信ヲ欠グガ故ニ直ニ教則第十四號第六條ニ抵觸セシ者トハ申サレ間敷從ウテ其處分ヲナスハ穩當ヲ欠クノ嫌有之仔細ニ觀察スル時ハ信仰ノ動搖ニ因ルヨリモ寧ロ人事上止ムヲ得サル者多キガ爲ニ有之候へハ斯ノ如キ者ニ對シテハ教會長ニ於テ夫是斟酌ノ上適宜ニ處置シ精々帳簿整理上遺憾ナキヲ期セラレ度此段及通牒候也

○恒例祭日ノ變更ハ濫リニ許サレザル件

明治四十年五月十七日
四〇監第一一號

各教會長宛

教則第十號ニ於テ規定セラレタル恒例祭日ノ義ハ元來其撰定ノ當初慎重以テ之レ

ヲ定メ茲ニ其認可ヲ與ヘラレタルモノナレバ濫リニ之ヲ變更スベキモノニアラズ然ルニ往々之レガ變更ノ申請ヲナスモノアリ斯ノ如キハ單リ其神聖ヲ瀆スノ嫌アルノミナラズ其所屬信者ノ信念持維ノ上ニモ大ニ影響シ延イテハ教導ノ効果ヲモ薄弱ナラシムルニ至ルサレバ今後ハ其理由ノ確認スベキ者ノ外ハ一切變更ヲ許サレザル方針ニ候條此段依命及通牒候也

○教師昇級選舉ニ關スル件

明治四十年五月廿七日
四〇監第一二號

各支部々長宛

三五教令第一號ノ教師昇級規程ノ精神ヲ往々誤リテ第一條所定ノ年限サへ經過スレバ凡テ選舉スベキ資格アル者ト心得ル向モ有之ヤニ相見エ候元來本條教師昇級ノ義ハ所定年限ト其功績ト相俟テ査定スベキモノニ有之候又同第三條ニ規定セラレタル特別昇級ノ如キハ本教教義上著シキ功勞アル者ニシテ普通功績者ナラザル場合ニ限り居リ彼ト是トハ査定上大ニ其精神ヲ異ニスル次第ニ候仍テ當事者ハ自今如上ノ精神ニ則リ嚴正ヲ旨トシ特別選舉ニ方リテ其理由ヲ詳細ニスルハ勿論普

通選舉ノ場合ト雖モ其理由具申相成度依命此段通牒ニ及ビ候也

○不慮ノ災變ニ際シ被害報告ノ件

明治四十年十二月六日
四〇監四七號

各支部々長宛

從來各地方ニ於テ不慮ノ災變發生セシ際ハ都度々々其状態ヲ具シ上申相成居候ヘ共其報告條項區々ニ涉リ要領ヲ得難キ向モ右ハ畢竟其様式ヲ設ケザリシニ依ルコト、被存候間爾今貴部内ニ於テ不慮ノ災變即チ火災水害其他諸種ノ災害等アリタル際ハ先ヅ電報ニテ被害ノ事ヲ報告致シ置キ猶詳細狀況取調ノ上左記要項ニ從ヒ速ニ報告致候様御取計相成度此段豫テ通牒ニ及ビ置キ候也

- 一、教徒、信徒ノ被害戸數人員及其他
- 一、教會所被害ノ狀況
- 一、災變發生地一般災害ノ概況

○本教錄事掲載ニ關スル件

明治四十年十二月三日
四〇監第五〇號

各支部々長宛

嘗テ三六達第五號ヲ以テ本教諸達ノ義ハ緊急ヲ要スルモノ、外ハ令德附錄教報ニ掲載セラルヘキ事ト相成居候處右令德ハ其後變改シテ大教新報ト相成候モ猶同附錄教報ニハ令德ノ當時ニ異ナラズ令達通牒其他本教ノ錄事ハ總テ掲載致居候ヘ共當事ノ新報ガ發行度數ノ少ナカリシ爲其令達通牒ヲ敏活ナラシメントノ精神ヨリ事ノ緩急ニ拘ハラズ諸達ノ本書ヲ發送シタル上猶例ニ從ヒ大教新報附錄教報ニ掲載致來リ候テ自然其慣例ト相成居候處同新報モ目下週刊ト相成居候ヘバ自今ハ三六達第五號ノ通り緊急ノ場合ヲ除クノ外ハ一切教報ニ掲載シ從來ノ如ク別ニ令達通牒ヲ發送セザルコトニ致候間各教會所ニ於テ此旨ヲ諒シ常ニ必ず右教報ヲ備ヘ置候テ教務上其遺憾ナキヲ期スベキ様御注意相成度此段通牒ニ及ビ候也

(參照)

三六達第五號 (明治三十六年四月十五日)

自今本教諸達ノ義ハ緊急ヲ要スルモノ、外ハ總テ岡山縣淺口郡吉備村大字大谷大明社發行ノ令德附錄教報ニ掲載致スヘク候此旨相達ス

○教信徒轉屬ノ際認鑑承認狀附與ニ關スル件

明治四十一年二月廿一日
教 監 通 牒

臺北教會長宛

本年二月十一日付ヲ以テ伺出相成候教信徒轉屬ノ場合ニ關スル件ハ前段ノ通即甲教會所ヨリ一度承認狀又ハ認鑑ヲ與ヘタル者ハ乙教會所ニ於テ更ニ附與セザルモ妨ゲ無之候條此段通牒ニ及ビ候也

追テ本文ノ場合ニ於テハ甲教會所ヨリ乙教會所ヘ對シ轉屬シタル事ヲ通告致シ可然候

(參照)

教則第十四號第五條ニ依リ甲教會長其教信徒徒タルコトヲ承認シ承認狀又ハ認鑑ヲ附與ノ後事宜ニ依リ乙教會所ニ轉屬シタル場合乙教會長ハ單ニ名簿ニ登錄スルノミニテ更ニ其教會所ヨリ承認狀又ハ認鑑ヲ附與スルノ必要ナキモノト存候處當教會所教信徒徒ニシテ内地ニ歸還ノ者ニ對シ其所屬教會所ヨリ再度承認狀又ハ認鑑ヲ下附相成候向往々有之候由申出候右ニ付テハ前述ノ通解釋シ差支御座ナク候哉御伺仕候也

○神訓乃威德授與ノ件

明治四十一年五月十五日
四一監第一五號

各支部々長宛

本教ニハ世ノ所謂守札ト稱スルモノ、無キコトハ教祖ノ神訓ニヨリテ明ナル次第ニ候處今回其未ダ本教ノ教理ヲ辨ヘザル者ノ爲ニ神訓乃威德ト題スルモノヲ發行相成金光本館ヨリ授與セラレ居候此ハ俗習ノ守札ヲ尊メル者ニシテ漸次本教ノ教理ヲ知悉スルニ至ル階級トシテ守トスルモ差支無キモノニ有之候ヘバ宜シク此旨ヲ体セラレ部内各教會所ヘ可然御傳達ソ上神訓乃威德ヲシテ遍カラシメ以テ本教ノ教義ヲ宣布スルノ一端タラシメンコトヲ希望ニ堪ヘズ命ニ依リ此段通牒ニ及ビ候也

○海外渡航教師ハ認許ヲ經ベキ件

明治四十二年三月卅一日
四二監第八號

各支部々長宛

貴部内教師ニシテ布教ノ目的ヲ有スルト否トニ拘ラズ所屬教區ヲ去リ海外ニ赴カントスル者ハ其目的事由ヲ具狀シ豫テ管長ノ認許ヲ經ベキコト、相成候間可然御傳達相成度此段命ニ依リ通牒ニ及ビ候也

(備考) 本文ハ韓國合併以前ノ通牒ナレバ今後朝鮮へ渡航セントスル者モ猶本文ニ準據スベキナリ

○教會所設置ノ際担当者が所有スベキ地所又ハ家屋ニ關スル件 明治四十二年八月十一日
四二監第二六號

各支部々長宛

最ニ四〇監第二號ヲ以テ教會所ヲ新設セントスルトキハ担当者が地所又ハ家屋ヲ所有スベキ義依命通牒ニ及置候其文中特別ノ事情云々ト有之候事情ノ二字ノ内容ヲ左ノ通限定相成候間自今斯ル場合ハ其事情ヲ具申シ認可ヲ經シムベキ義ニ付左様御心得ノ上可然御取計相成度此段通牒ニ及ビ候也

- 一、新設教會所ノ事情ニテ一ケ年若クハ二ケ年ノ後ニハ必ず家屋或ハ敷地買收若クハ新築ノ計畫アルモノ
- 一、土地ノ狀況ニ依リテ敷地又ハ家屋ノ買收ニ困難ナルモノ
- 一、前各項ノ場合ハ其事情ノ如何ニヨリテ滿三ケ年迄ハ猶豫セラル、モノトス

○社會改善及救濟事業ニ關スル件

明治四十三年三月五日
四三監第一號

各支部々長宛

貴部内教會所及教師信徒ニシテ社會改善又ハ救濟事業等ニ關シ既ニ施設若クハ施設セントスルモノハ左ノ事項ニ依リ來ル三月三十日迄ニ其旨ヲ届出ツベキ様御取計相成度此段通牒ニ及候也

- 追テ自今施設ノ場合ハ必ず其都度該事項ニ依リテ届ケシメラルベシ
- 一、其種類名稱
- 二、其施設年月日(其施設豫定年月)
- 三、其經費ノ出所及豫算
- 四、其施設經營ノ概要
- 五、其規定

社會改善ニ關スル事業例

納稅獎勵、青年會、婦人會、巡廻文庫、特種部落改善、貯蓄獎勵、兒童俱樂部、公開講演會、子守下婢ノ訓育、鐵道講演、警察講演、工場講演、遊廓講演、其他風俗改善上ニ關スル事柄(假令ハ冠婚葬祭等ニ就テノ惡幣改善)

社會救濟ニ關スル事業例

施療、免囚人保護、女囚乳兒保護、職工ノ保護、貧兒ノ養育、勞働紹介所、生業ノ扶助、孤獨ナル老幼者ノ扶助、其他

○祭日申請及説教日届出手續ノ件

明治三十三年十月十四日
教務課通牒

各支部々長宛

別紙第一號ヨリ第三號書式ニ準シ其部内各教會所ノ祭日申請及説教日ヲ届出候様御取計相成度此段及通牒候也

追テ臨時祭申請又ハ臨時説教届ハ其都度手續ヲ經ベキ様御通達相成度候也

恒例祭日認可願

月	日	午前何時ヨリ	大	祭
月	日	全	春	季靈祭
月	日	全	秋	季靈祭
月	日	全	教	祖大祭
月	日	全	大	祓

毎月日全

月次祭

右ハ教則第十號第四號ニ依リ當教會所ノ恒例祭日卜定メ度候ニ付御認可被成下度此段願上候也

年月日

金光教何々(小)教會長

教師等級 何 某

管長宛

紀念祭日認可願

月日

何々祭

右依(理由)ニ付教則第十號第五條ニ依リ毎年書標ノ期日ヲ以テ當教會所(若クハ或區域内一地方)ノ紀念祭ヲ施行致シ度候ニ付御認可被成下度此段願上候也
年月日

金光教何々(小)教會長

教師等級 何 某

管長宛

定期説教屆

毎月何日何時

(但シ其月ニヨリ一定ノ變更スベキ
モノハ其趣詳細ニ記入スベシ)

右當教會所ノ定期説教日ト取定候ニ付此段御届仕候也

年月日

金光教何々(小)教會長

教師等級 何

某 印

金光教本部教務課長宛

(備考)

恒例祭日ヲ臨時變更セシ時ハ其都度本部へ届出ラルベシ

明治四十四年六月二十七日印刷
明治四十四年六月三十日發行

岡山縣淺口郡三和村大字大谷三百二十五番地

編輯兼 飯塚辰太郎
發行者

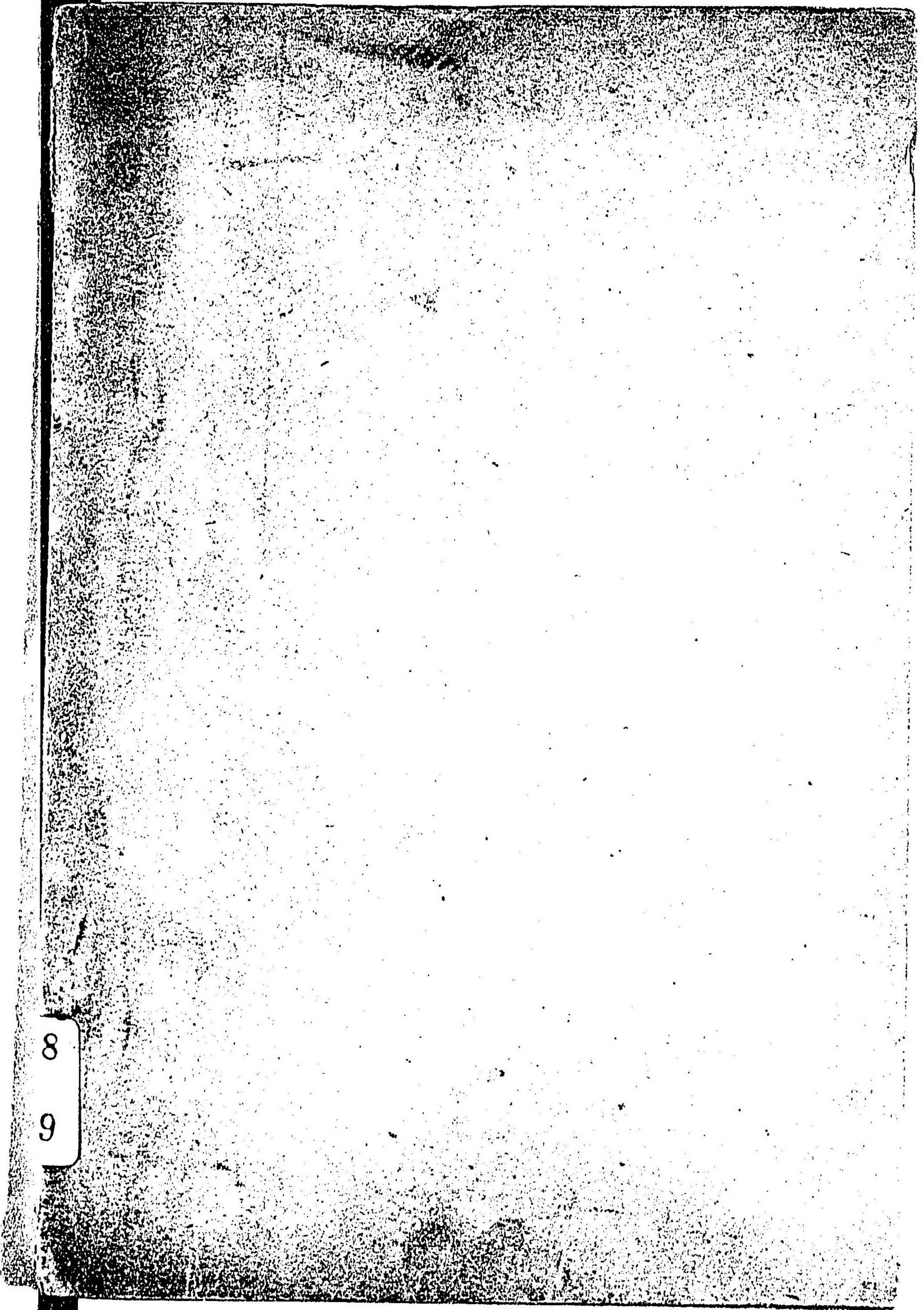
岡山縣淺口郡玉島町大字玉島四百拾七番地

印刷者 守分清三郎

岡山縣淺口郡三和村大字大谷三百二十五番地

發行所 大教新報社





8
9